

子供・教師のウェルビーイングを 高める学校改革

—教育政策における「ウェルビーイング」の捉え方と取組—

現在、世界各国の教育政策で子供・教師のウェルビーイングの向上が目指されています。

そこで本国際シンポジウムでは、イギリス、韓国、フィンランドからパネリストをお招きして、各国における子供・教師のウェルビーイングに関する教育政策が、どのような背景や文脈で議論され、ウェルビーイングをどう捉え、学校で担うべき射程をどう設定し、どのような取組を進めているのか、そしてその取組をどのような指標で測定し、改善を図っているかについて報告いただきます。

そしてパネルディスカッションでは、上記の3カ国に日本を加えた4カ国のパネリストにより、日本の現状を踏まえて、今後の学校改革の在り方を議論し、この分野の研究の礎を構築したいと考えています。

日時

令和8年3月14日(土) 13:00~17:00

会場

文部科学省記念講堂(3階)

開催形式

ハイブリッド開催(対面およびオンライン)  日英同時通訳付

参加無料

定員

会場150名、オンライン300名

対象

学校教職員、教育委員会関係者、研究者及び一般の方

登壇者



卯月 由佳

国立教育政策研究所
教育政策・評価研究部副部長



イギリス

シネイド・マクブライアティ
Education Support代表



韓国

ホ・ジュ
公州教育大学教授



フィンランド

ピア・コラートルヴィネン
国家教育委員会 教育参事官



神林 寿幸

明星大学准教授

申込方法

下記URLまたは右記二次元コードよりお申し込みください

<https://form.run/@omc-75SpMxZ4rK7UXVIUXxAB>

申込締切：令和8年3月8日(日)



お問合せ先

国際シンポジウム事務局 国立教育政策研究所研究支援課
E-mail : nier-sympo@mext.go.jp

子供・教師のウェルビーイングを
高める学校改革

2026年3月14日 土
13:00~17:00
文部科学省 3階講堂

－教育政策における「ウェルビーイング」の捉え方と取組－

プログラム

日英同時通訳

総合司会

廣谷 貴明 教育政策研究所 教育政策・評価研究部 研究員

13:00~13:05 ◆開会挨拶

森田 正信 国立教育政策研究所長

13:05~13:20 ◆趣旨説明

藤原 文雄 国立教育政策研究所 教育政策・評価研究部長

【第一部】

13:20~13:35 ◆報告

「教育政策におけるウェルビーイングの捉え方」

卯月 由佳
国立教育政策研究所 教育政策・評価研究部 副部長

◆招待講演 1
13:35~14:05
イギリス

「教師のウェルビーイング：イギリスの捉え方」

シネイド・マクブライアティ
Education Support代表

◆招待講演 2
14:05~14:35
韓国

「韓国における教師と児童生徒のウェルビーイング」

ホ・ジユ
公州教育大学教授

◆招待講演 3
14:35~15:05
フィンランド

「フィンランドの教育における児童生徒と教師のウェルビーイングの捉え方と取組」

ピア・コラ＝トルヴィネン
国家教育委員会 教育参事官

休憩

【第二部】

15:25~15:35 ◆報告

「教員ウェルビーイングにみる日本の学校教育をめぐる課題と今後の展望」

神林 寿幸
明星大学准教授

◆パネルディスカッション
15:35~17:00

「子供・教師のウェルビーイングを高める学校改革のあり方」

パネリスト : 神林 寿幸
シネイド・マクブライアティ
ホ・ジユ
ピア・コラ＝トルヴィネン

モデレーター : 植田 みどり
国立教育政策研究所 教育政策・評価研究部 総括研究官